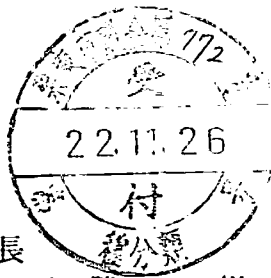


平成22年11月26日



栗東市議会議長

高野正勝 様

要望者

栗東市街道百年ファンクラブ

会長 谷口浩 

「芸術文化の力を活かしたまちづくり事業」継続に関する要望書

要望の要旨

栗東市街道百年ファンクラブは、現行の栗東芸術文化会館さきら指定管理者と協働して地域と連携した「芸術文化を活かしたまちづくり事業」を展開し、大きな成果が生まれています。

こうした事業実績を高く評価し、今般の栗東芸術文化会館さきら指定管理者の指定替えにあっても、本事業展開が今後も継続して行われることを強く要望します。

要望の理由

私ども栗東市街道百年ファンクラブは、歴史街道や農村集落等にも美しい景観や生活文化に注目したまちづくり活動を行うなかで、現行の栗東芸術文化会館さきら指定管理者が実施する事業（「コミュニティアートプロジェクト」・「御旅所コンサート」等）とも連携し、これまでに地元自治会や地域住民の方々と協働して「芸術文化を活かしたまちづくり事業」を展開して参りました。

この事業を通じて、地域コミュニティの再生、地域資源の再発見、地域の活性化、栗東市固有の創造的環境の創出など、市民参画や協働によるまちづくりの可能性は、現在、着実に拡がりつつあり、地域住民の方々との共通理解の醸成による活動成果は、明らかに顕在化してきています。

また、「栗東市市民参画と協働によるまちづくり推進条例」や、第5次総合計画に示された「個性を生かす地域文化のまちづくり」の施策方針が示すとおり、こうした協働や連携によるまちづくりは、これからも確実に継続した事業展開を図ることが求められていると考えます。言い換えれば、この連続性を確保しなければ栗東市のまちづくりの後退に繋がる危惧が懸念されるところでもあります。

このように、私ども栗東市街道百年ファンクラブが、現在まで栗東芸術文化会館さきらと連携し、地域住民と協働して進めてきた「芸術文化を活かしたまちづくり事業」の理念や事業内容の存続は、今後のまちづくりの進展に必要な不可欠なものであり、今後もこれらを確実に継続した活動として展開されることを強く要望します。

芸術文化の力を活かしたまちづくり事業「さきら御旅所コンサート」

現在まで、地元自治会、地元住民の方々、街道百年ファンクラブ、さきらが協働して、「人や歴史」、そこにしかない地域の資源とコラボレートした御旅所コンサートを実施してまいりました。

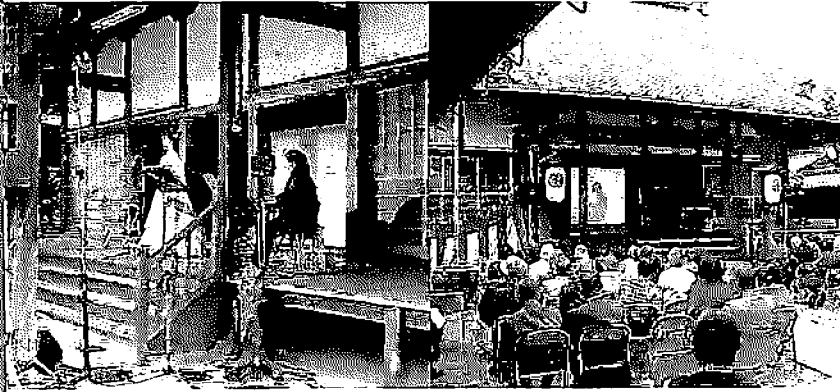
地元につながるお話の創作、語りを地域の方々をお願いして、オリジナルのコンサートを創り上げてきたことが特徴です。

芸術文化を活用した、市民協働によるまちづくりのこうした取り組みは、参加いただいた地域の方々のみならず、文化庁や国土交通省など全国からも注目されています。

「さきら御旅所コンサート」現在までの実績

2009年10月10日18日(日)

第三回 堂々りつどう景観記念日 下鉤甲



ソプラノ:高野久美子 ピアノ:浜野千津 語り:下鉤甲のみなさん

第1回 2009年12月26日(日) 第2回 2010年11月14日(日)

観音寺 ヒガリトオトノセカイ



第1回 出演 打楽器:宮本妥子・後藤由里子 語り:観音寺のみなさん

第2回 出演 カリンバ:山田晴三 Vocal:飯塚あかね 語り:観音寺のみなさん

2010年 10月10日4日(日)

第三回 堂々りつどう景観記念日 六地蔵



出演 ファゴット:大角多佳子(六地蔵出身) サクソフォン:齋藤桃子(六地蔵出身)
ピアノ:松田みゆき 語り:六地蔵のみなさん